

プリントのまとめ（プリントを全部読んで時間がない人のために）

- ・ 生得的行動：生まれながら備わっている行動 走性・反射・本能行動
- ・ 習得的行動：生まれてから経験により習得する行動 学習・知能行動
- ・ 走性：刺激に対して一定方向に運動する行動。刺激には光や重力、磁場、温度など様々な種類があり、また行動の向きにより「正」「負」に分かれる
 - e x) 正の光走性：光源に向かって運動する行動 昆虫など
 - 負の光走性：光源と反対方向に向かって運動する行動 ゴキブリなど
 - 正の重力走性：重力に向かって運動する行動 ミミズなど
- ・ 反射：刺激に対して意識とは無関係に瞬時に起こる反応。反射は脊髄・延髄・中脳が中枢となる反応で、大脳を経由しないぶん反応がすばやい。
 - e x) しつがい腱反射
- ・ 本能行動：外部の特定の刺激(信号刺激 or 鍵刺激)に対して引き起こされる行動(反射)が複雑に組み合わさったもの
 - e x) セグロカモメのつつき行動
 - イトヨの産卵行動
- ・ 刷り込み：特定の物事がごく短時間で覚え込まれ、それが長時間持続する現象
 - e x) マガモ
- ・ 条件反射：反射を引き起こす刺激と無関係な刺激を同時に加え、これを何度も繰り返すと、その無関係な刺激(条件刺激)だけで反射が起こるようになること。
 - e x) パブロフの犬
- ・ 知能行動：まだ起こっていないことを予想し、過去の経験を生かして未経験のことに対処する行動で、ヒトやサルに特有な行動
- ・ ベルクマンの法則：寒い地域の生物ほど大型になる
 - 体積あたりの表面積を減らし、放熱量を少なくするため
- ・ アレンの法則：寒い地域の生物ほど耳などの突出部が小さくなる
 - e x) ホッキョクグツネとフェネック
- ・ 個体群間の相互作用について
 - 1、 中立・・・双方が影響なし (共に独立)
 - 2、 競争・・・双方が障害を受ける (共に競争者)
 - 3、 片害・・・一方は障害を受け、一方は影響なし (被害者と阻害者)
 - 4、 捕食・・・一方は利益を受け、一方は障害を受ける (捕食者と被食者)
 - 5、 寄生・・・一方は利益を受け、一方は障害を受ける (寄生者と宿主)
 - 6、 片利共生・・・一方は利益を受け、一方は影響なし (共生者と宿主)
 - 7、 相利共生・・・双方が利益を受ける (共に共生者)